

平成24年度小野市（普通会計）

バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

平成24年度末の市民1人あたり

資 産	159万5千円	（対前年度比 9千円減）
負 債	37万6千円	（対前年度比 1万8千円増）
純 資 産	121万9千円	（対前年度比 2万7千円減）

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	140万円
負 債	101万円
純 資 産	39万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成24年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は801億541万円となりました。新都市中央線の整備や基金の積立等により前年度から2億3,740万円増えています。一方、負債合計は188億9,770万円となり、防災センターの建設など安全・安心なまちづくりにかかる地方債の増等により、前年度から10億4,817万円増えました。資産から負債を差し引いた純資産は612億771万円となり、前年度から8億1,077万円減りました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が685億9,305万円、売却可能資産が11億3,481万円で、公共資産合計で全体の87.0%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が376億8,085万円、小・中学校の校舎などの教育関係費が199億3,017万円とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が169億6,822万円、流動負債として地方債の25年度償還予定額が15億3,676万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は159万5千円、負債は37万6千円となり、純資産は121万9千円となりました。

平成25年8月23日

小野市総務部財政課